

# ステップアップ

北斗市立大野中学校  
研 究 部  
第 7 号  
2020.2.4

「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり

～生徒の学習の成果等を的確に捉える学習評価の充実～」

【めあて】ミニ校内研をふりかえり、自分の授業に取り入れたいことを見つける。

## 1月校内研修内容

<input type="checkbox"/> ミニ校内研の振り返り	授業者	鮫川 t
<input type="checkbox"/> 開発的な生徒指導について		川村 t
<input type="checkbox"/> 北海道教育評価研究会研究大会参加報告		平元 t

### 《ミニ校内研のふりかえり》

【3学年 A～C 組 保健体育科】  
(授業者より)

・内容を盛り込みすぎたと反省している。内容と時間の使い方を見直すことで、生徒たちに自分自身の答えを持たせたうえで、お酒の断り方を考えさせることができたかなと感じる。  
○パワーポイント資料が充実していて、生徒の興味・関心をひいていた。交流時間を確保したり、まとめとして発表するためには、内容の精選をすると良いと感じた。  
○導入時に、「お酒を勧められたら何と言って断るか」を考えることで、その後の知識の学習が見通しを持って行えると思う。  
○まとめまで到達できず、終わってしまったので、時間の使い方を見直すと良いと思う。  
○パッチテストなど、体験型の内容が含まれており、一人一人が違った結果を受けた後で、自分はどの行動するのかを学習していく有意義な時間だったと感じた。結果の違う生徒で話し合いを行えば、さらに深い学びにつながったと思う。

【開発的な生徒指導について 川村 t】

・4種類の生徒指導について  
「開発的」「問題解決的」「予防的」「治療的」  
・バイアス(先入観)を考え直す時代にきている。優先順位を付けて指導する必要がある。  
・ある中学校では、服装がバラバラ、ペットボトル飲料持ち込み OK、上靴忘れ対応として貸し出し用上靴を用意、学習用具対応(置き勉)、制服の移行期間の着方などが自由であり、自分たちで判断するようにしている。  
・生徒の自治を促進することが目的。開発的な生徒指導とは、集団を育てることでつまづきのある子をひっぱりあげるという考え方。

【校長先生から】

研究授業は絶対に自分の財産になるので、全職員が学習指導部のリーダーシップのもと授業公開ができたことはとても有意義なことである。開発的な生徒指導についても今日の発表をもとに検討していただきたい。

【北海道教育評価研究会研究大会参加報告 平元 t】

・「生きてはたらく力」は、「問題解決能力(自分の課題を見つけ、その解決のために活動する能力)」と「他と関わる能力(他の良さや考え方を受容し、自分に不足しているものを補うこと)」を両輪として学びを連続させていくもの。  
学習の結果ではなく、追求過程を学習の成果として捉えることを重要視する。  
・学校での学習を実生活の場面で活用できたり、学校で得た知識や技能を他の場所や場面で発揮できる力が「生きてはたらく力」である。  
・「生きてはたらく力」は学習の結果ではなく、どのような過程を経て問題を解決しようとしたか、解決の方法を探ったのかということが評価されるものであるため、評定をつけるように「ABC」では測る事が難しい。  
・パフォーマンステストの実践事例について  
「可視化」することによって、探求する楽しみが減り、意欲的に学ぶ姿勢に影響が出る可能性。  
ループリックを作成することによって評価をつける際の迷いがなくなったという利点があった。